

# JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2026 6

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2026年6月



九重連山、平治岳

「紅の山」

歌にも歌われている九重山。蓮華温泉くじゅうに向かう途中から平治岳ひいじの山頂付近がピンクに染まっているのが見えた。満開に咲き誇るミヤマキリシマをかき分けながら登り、どのように写すか迷いながら、夢中でシャッターを切った。

(畑誠一・大田ハイキングクラブ/東京)

- 労山 Instagram 講習会案内
- 登山寿命を延ばすための講習会@関東ブロック
- クリーンハイク報告の依頼

各地方連盟皆さん！  
Instagramを活用して  
仲間を増やそう！  
Instagram<sup>zoom</sup>講習会



6月26日 金

19:00~

申込

全国連盟事務局宛  
(jwaf@jwaf.jp)

申込締切

6月24日(水)



申込はコチラからも

日本勤労者山岳連盟連盟組織部

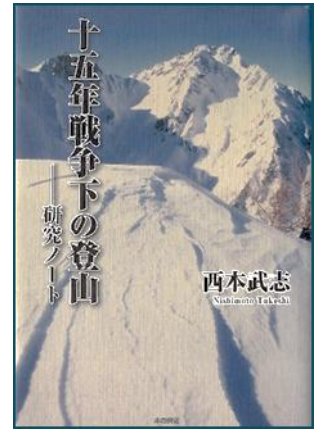


# 訃報

日本勤労者山岳連盟・元理事長／会長

西本武志さんが2026年4月17日に体調を崩して逝去されました。享年85歳でした。

主な著作：「十五年戦争下の登山—研究ノート」



## 機関誌・紙編集委員会からの協力依頼

(登山時報・JWAF ジャーナル)

### 登山時報夏号では「第53回全国一斉清掃登山・クリーンハイク」を取り上げます。

各会・クラブ(地方連盟)のクリーンハイクの取り組みを写真で紹介し、この機会に、ボランティア活動を登山時報にのせませんか？

※登山時報夏号は7月25日発行予定

締切6/15(月) 送付先:jwaf@jwaf.jp  
(労山事務局)

<写真1点>ファイルサイズ:

できれば1MB以上(原寸サイズ)

<キャプション(写真コメント)>

文字数50文字~150文字以内

・(地方連盟)会・クラブ名

・実施日 ・清掃山域名 ・参加人数

・感想(例として成果物 可燃物 不燃物)

ご協力よろしくお祈いします。

## 労山カレンダー写真募集

今回も労山会員の山写真でカレンダーをつくり、山や登山の素晴らしさ、魅力が伝わる1枚をお待ちしています！

募集期間 2026年 **7月20日(月) 必着**

### 応募規定

資格：労山会員

点数：一人5点まで

期日：2026年7月20日(月) 必着

写真：横位置のみ、合成不可



・データの場合

1000万画素数以上(縦2500×横3500ピクセル以上)

形式はJPEGまたはTIFF

・フィルムカメラ作品の場合

B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの

・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー(B4判・中綴じ)掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承下さい。

- JWAF journal の表紙 - 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

### スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素数な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

### 選考規定

採用数：表紙および1月~12月の計13点

選考：小松由佳さん(フォトグラファー)

### 応募方法

WEB応募 <https://ws.formzu.net/fgen/S49439517/>

郵送 CD-R又はUSBで送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名(山域)・撮影年月日を明記してください。

送付先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。



採用された方には謝礼2万円

すべての応募者にカレンダー1部進呈



2027  
年版

# 労山基金 2026年4月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	入通院日数 死亡数
1	大阪府	60代男性 1口	2025/04/14 12時28分頃	近畿地方その他 繖山 入山2時間後、石馬寺分岐で昼食 休憩中	無雪期登山	病気	能登川駅から出発（10時）2時間後昼食休憩。出発時（12時28分）に呂律が回らない事を仲間が気づく。（脱水症状）12：30に救急連絡。石馬寺への階段上の広場でヘリ搬出。近江八幡市立総合医療センターへ救急入院中。瞬時に発生した脳梗塞の箇所がある。	心原生脳塞栓症・脳梗塞	入院11日
2	群馬県	50代女性 9口	2025/04/26 08時00分頃	奥秩父 天狗山	登攀	転倒	マルチピッチルートの取り付けに向かう途中、登山道を外れ下って10分程の所で足を滑らせ転倒し骨折した。	左脛骨腓骨骨幹部骨折・左足関節後果骨折・左腓骨骨幹部骨折	入院19日 通院25日
3	兵庫県	50代女性 5口	2025/05/04 13時30分頃	北ア 後立山連峰 鹿島槍ヶ岳 大川沢の河原	積雪期登山	転倒	下山時、渡渉しようとして河原に降りかけ雪渓を歩いていたところ左足で30センチほど踏み抜いた。その際、右足が内側に曲がった状態で転倒した。	大腿四頭内側広筋 損傷	通院25日
4	道東地区	30代男性 5口	2025/06/28 15時00分頃	大雪山系 層雲峡 発電所	登攀	転・滑落	クラックのルートをリードクライミング中に、支点2つ取った状態でテンションをかけたところ、カムがすっぽ抜けて5m下にグランドフォールし尻を強打し、仙骨を骨折した。	仙骨骨折	通院3日
5	岡山県	70代男性 5口	2025/07/17 05時00分頃	大雪山系 トムラウシ山 ヒサゴ沼付近	無雪期登山	窪地に右足を 落とした	17日朝、ヒサゴ沼横の最初の雪渓のトラバースを終え、次の雪渓に至る途中を歩行中、窪地に右足を落とし足首のじん帯を痛めた。その時激痛があったが通常の登りでは痛みが無かったので、次の雪渓を登り切ったところで負傷箇所をテーピングで処置をした。	右前距腓靭帯断裂	通院10日
6	東京都	60代女性 10口	2025/07/19 11時30分頃	奥武蔵・秩父 日和田山 子供岩	訓練	転・滑落	子供岩の上部の立木を支点として懸垂下降をしたところ、振られて子供岩から滑落した。自力下山しましたが、荷物はメンバーが運び、登山口近くのコンビニから自宅へ宅急便で配送しました。この宅急便代が救助費用になるか分かりませんが、「救助捜索費はあり」を選択させていただきました。	右側の第10・第11肋骨の骨折	通院3日
7	群馬県	60代女性 3口	2025/07/13 12時00分頃	尾瀬・南会津 隧ヶ岳 隧ヶ岳から熊代田代の間	無雪期登山	転倒	隧ヶ岳から御池登山口に向かって下山する際、転倒した。その際右膝を負傷したが、そのまま下山した。痛みが続いたので整形外科を受診し半月板が損傷していると診断された。その後他の医療機関で靭帯炎と診断された。	右膝靭帯炎（がそくえん）	通院15日
8	岐阜県	60代女性 5口	2025/08/31 11時30分	北ア 槍・穂高周辺 奥丸山 滝谷避難小屋付近チビ沢	無雪期登山	転倒	下山途中、滝谷避難小屋付近のチビ谷の石に乗った時、石がずれてバランスを崩して転倒し、右手を付いた時にその石の下に手が入り込み手首を負傷。	右橈骨位端骨折	入院4日 通院19日
9	福岡県	70代男性 5口	2025/08/28 14時00分頃	北ア 後立山連峰 赤牛岳 奥黒部ヒュッテ(7:15出発)…平ノ 小屋下～ロジックろよんの	無雪期登山	転・滑落	登山道を2人で歩いていた時に前を歩いていた事故者が登山道の端の落葉を右足で踏み5m程滑落した。顔の負傷時による破傷風の疑いがあり注射要となる。	右上腕・左腕の打撲、 顔・体の擦り傷	通院4日
10	千葉県	50代男性 10口	2025/09/06 14時00分頃	奥秩父 小川山 父岩 小川山物語	登攀	転・滑落	小川山物語リードクライミング中に5m程落下 落下中左足首を岩にぶつけた。	左距骨圧迫骨折・左足 関節外側靭帯損傷	通院13日
11	神奈川県	60代男性 5口	2025/09/24 13時30分頃	北ア 槍・穂高周辺 西穂高岳 西穂高山荘付近2300 m	無雪期登山	転倒	西穂高山荘から下山開始後10分程度で左足接地時に踏ん張りがきかず足首を捻り、転倒した。足首の痛みはひどくなく転倒による怪我もなかったので三角巾で足首を固定しそのまま下山した。下山後足首は腫れてきたので病院にて診察をうけレントゲンの結果は骨折などはなく湿布とサポーターで固定することとなった。	左足関節捻挫・右膝関 節捻挫	通院34日
12	道央地区	40代男性 10口	2025/10/11 14時00分頃	北海道その他 知内岳 ツツラ沢	沢登り	転倒	下山時、転倒。足指を負傷。	右前十字靭帯断裂・左 第二趾中節骨骨折	入院2日 通院4日

13	東京都	60代女性 10口	2025/10/05 10時00分頃	奥武蔵・秩父 日和田山 子供岩	訓練	虫・動植物	所用があり一人遅れて参加。急いでいたので裏登山口から登山道を通り途中から直接に藪ごぎして子供岩に向かった。脇腹を虫に食われたがムヒを塗っていたところ、10日に風呂に入ったとき患部に5ミリくらいの茶色い豆粒のような虫を発見した(マダニと思われる)。11日に皮膚科を受診したが、診察時に虫は脱落していた。医師の判断で血液検査と抗菌剤を処方され、18日に患部の切開縫合と病理検査、24日に抜糸した。	ダニ咬傷	通院5日
14	和歌山県	70代女性 5口	2025/10/29 16時00分頃	台高・大峰山系 木梶山 林道	無雪期登山	転倒	林道下山中、浮石に足を取られ転倒、左足首をひねり、向う脛を打った。	左肋骨遠位端骨折・左下腿打撲傷	通院17日
15	道央地区	20代男性 5口	2025/12/14 17時00分頃	北海道その他 札幌岳 冷水沢	積雪期登山	転・滑落	空沼登山口から縦走最終日三日目。下山ルートである冷水沢にて、沢に滑落。冷水小屋と林道の間地点で視界も悪く、ピバークを決行。12時すぎに道警により救助。	右足小指軽度の凍傷	通院1日
16	東京都	70代女性 2口	2025/11/28 15時00分頃	丹沢・道志 蛭ヶ岳 姫次から5分程下ったところ	無雪期登山	転倒	姫次から5分程下ったところで転倒し、左前頭部を強打した。	左前頭部を強打	通院1日
17	新潟県	60代女性 10口	2025/12/08 09時30分頃	関東・甲信越その他 蓼科山 春日溪谷アイスクライミングF3	氷瀑	転・滑落	セカンドで登っている方の氷が当たるとのを避けるため右側を登り乗越のところで落ちて左胸部を打った。	左側肋骨1本骨折	通院1日
18	道東地区	40代女性 10口	2026/01/11 10時30分頃	北海道その他 恵庭溪谷 漁川モイチャン滝周辺	氷瀑	落石(落水)	アイスクライミング中にクライミングエリアより上部の氷塊が崩壊してトップロープクライミング中のクライマー及びピレーヤー、周辺に居た人に当たった。	右腕・右肘損傷	通院6日
19	岡山県	60代女性 5口	2026/01/14 10時30分頃	中国・四国その他 福山 和霊神社付近	無雪期登山	その他	和霊神社の境内付近で木の根に躓きバランスを崩したところ、付近にあった石の手水舎のようなものに顔の右側をぶつけ、前歯が1本破折した。	前歯の破折	通院4日
20	愛知県	70代女性 5口	2026/02/01 14:50~15:00頃	那須・日光・足尾・常陸 光徳加スカトリスキ-場 山5kmコース中間地点より少し ゴール寄りの下り坂	加加・スノーシュー	転倒	転倒して尻もちをつき、お尻を強く打つと同時に頭に衝撃が走り暫く動けなかった。その後立ち上がってリブシューを再開したが、頭痛(頭頂部全体→左頭頂部、左後頭部)を感じるようになった。尻もちをついた時、雪面が異常に硬く、お尻が非常に痛かったが外傷はなかった。帰宅後、頭痛、めまい、吐き気の症状があり脳神経外科を受診した。	急性硬膜下血腫・左胸部打撲(肋骨部)・臀部打撲	通院6日
21	長崎県	70代男性 10口	2026/01/22 13時30分頃	九州・沖縄その他 兜岳 兜岳登山ルート標高約300m地点	無雪期登山	転倒	市内最高峰八郎岳～兜岳経由の山行において、兜岳通過し下山中に標高約300m付近で、ツルに足を取られ、頭より回転、転倒。頭はヘルメット着用しており異常なし。自力下山するも左スネの痛みと腫れが出てきて、翌23日整骨院、24日整形外科に行き、レントゲンを取るが、骨に異常はみられなかった。	左スネ打撲	通院6日
22	佐賀県	60代女性 2口	2026/03/15 09時30分頃	九州・沖縄その他 開聞岳 鹿児島県指宿市薩摩半島南端	無雪期登山	転倒	登り中盤で、石や木の根がある登山道で、木の根につまずき転倒、手は着いたものの、胸部を強打し、痛みがあった。	左胸第3肋骨骨折	入院4日
23	東京都	50代男性 10口	2026/03/14 14時00分頃	八ヶ岳連峰 八ヶ岳 地獄谷権現沢左俣 左方ルンゼ 25m 大滝	氷瀑	転・滑落	トップロープで、アックスにリーシュを付けて登っていた。トップロープという安心感から、悪いラインを浅打ちで登っていた。クライマーがフォールし、アックスがリーシュに引っ張られ抜ける。アックスがクライマーに向かって飛んでいき、刃が首の左付け根に刺さる。すぐにアックスを抜き、流血していたので、ガーゼと包帯とテーピングで止血。会話も歩くことも問題なかったため、すぐに下山して、救急外来で縫合。	首 刺し傷	通院3日

## 2026年4月1日から5月1日までの事故一覧

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	
1	3/28	大阪府	66	男性	奥立岩	登攀	体勢	屏風岩エリアのブラボー(5.12a)をトライ中、右上のカバに向かって、右足のつま先に力を入れてデッドしようとしたら、右ふくらはぎからパシッという音がした。それ以降、岩に右足をつけることができず、肉離れと認識。	右ふくらはぎ下部肉離れ
2	3/21	神奈川県	64	男性	鹿島槍ヶ岳	冬季登攀	転・滑落	セカンドはフォロー中4m上の2ピン目でスリップした。(後ほど本人に確認)ロープに荷重がかかると同時に確保点の木が折れ、ビレイヤーも巻き込まれ7m滑落し、最後に木にとったランニングで止まる。事故者は左肩を強く打って左腕が動かさぬ状態。そのまま降りた方が安全と判断し懸垂下降で降りる。傾斜が落ちてきたところに雪の庇があり、その下にビバークする。富士消防防災センターのヘリより1名が降下。事故者をホイストにより収容。大町の高瀬川河川敷に着陸。救急車に乗り換えて応急処置を受け大町総合病院に搬入。	左肩脱臼・および足の凍傷
3	3/26	兵庫県	62	女性	雌岡山・雌岡山	無雪期	転倒	雄岡山からの下りで、Tさんが道の横の大きな木の株を横へどけようとしたら、それがTさんの前に倒れてきた。それを避けようとしてTさんが転倒。それに巻き込まれた私が仰向けに倒れた。	打撲
4	3/14	東京都	53	男性	八ヶ岳	氷瀑	転・滑落	トップロープで、アックスにリーシュを付けて登っていた。トップロープという安心感から、悪いラインを浅打ちで登っていたところフォールし、アックスがリーシュに引っ張られ抜ける。アックスが事故者に向かって飛んでいき、刃が首の左付け根に刺さる。救急外来で縫合。	首 刺し傷
5	4/4	鹿児島県	55	男性		人工壁	転・滑落	ポルダリング中、落下時に右足首に障害物が当たり痛くなったため、翌日病院を受診した。	左足首・左足関節三角靭帯損傷
6	3/30	群馬県	74	女性	陣馬山	無雪期	転・滑落	急斜面を登り切り、トラバースになった地点(標高約750m)で、大木の横を下る際に バランスを崩し転倒、約10mほど滑落して停止した。	上腕骨頸部骨折
7	3/29	山梨県	63	女性	弥彦山	無雪期	体勢	妻戸尾根を登りながら夢中で雪割草を撮影中、右手奥の花を撮る為に、ぐっと足を踏み込み右手を伸ばし体重をかける姿勢になった瞬間、握鎖骨の下にグキッと痛みが走った。	助軟骨損傷
8	4/5	宮崎県	62	女性	国見山	無雪期	転倒	国見山山頂に登山後、五分程下った所で、転倒。	手首骨折
9	4/4	神奈川県	72	女性	金時山	無雪期	転倒	下山時、滑った際に手をついてしまい、左手小指第一関節を骨折。	左手小指第一関節骨折
10	4/9	京都府	72	女性	大谷山	無雪期	転倒	大谷山を過ぎたあたり、13時45分ごろ、平坦な山道で突き出た石に引っかかり前に転倒。	左橈骨遠位骨折・左尺骨茎状突起骨折
11	3/29	京都府			小脇山・箕作山・赤神山	無雪期	転倒	事故者は、会員ではなく一般参加の女性。市辺駅からのハイキングで十三仏参道から小脇山まで行き、昼食を取り、再び箕作山に向けて出発してまもなく、ゆるい下り坂で尻もちをつく。その際、左手を強くつき、捻った。湿布をして様子を見たが、翌日受診し手首骨折と言われました。	左手首の骨折
12	4/8	愛知県	75	男性	釈迦が岳	無雪期	転倒	羽鳥峰峠より下山し、猫岳林道分岐手前100mくらいの林道上で地面より少し出ている石に躓き転倒する。その時、顔面と左膝を石にぶつける、顔面は創傷し出血したためしが救急車で洗い、止血後絆創膏で留めた。膝は少し痛むが問題ないと思い救急車で洗い後傷パッドを貼り三角巾で保護して、帰宅後近くの外科を受診する。	左足膝創傷、顔面創傷
13	4/12	愛知県	52	女性	南山	訓練	転・滑落	愛知県連第58期 登山学校実技。マルチ ッチクライミング のシステム理解・実践を目的に、リード 役1名+セカンド 役2名で登攀パ ーティを組み、岩場ではない平地でコンテュア登攀のシミュレーションを実践。事故者はセカンド 役。トップ にビレイされ模擬登攀、終了点間際に80センチほどの段差に上がったところで背面転落し、背面からグラウンド フォール。	軽度頸椎損傷
14	3/29	埼玉県	56	男性	磐梯山	積雪期	落石	磐梯山東壁右岩稜線上部取り付きにて上部からの落石が右目の上に強打する。それによりまぶたの上を切る。	挫創・外傷性眩暈・顔面骨折
15	3/29	道央地区	61	男性	羊蹄山	山スキー	転倒	下山時、スキー滑降中にスピードが付き過ぎてバランスを失い激しく転倒したもの。痛みがあったがそのまま下山。	右膝半月板および靭帯損傷
16	4/12	埼玉県	67	女性	守門大岳	山スキー	転倒	スキーで下山中、立木と衝突。	左足膝靭帯損傷
17	3/21	東京都	47	女性	北高尾山陵	無雪期	転倒	木の根につまづきバランスを崩して左膝を捻り転倒した。歩行可能であったため、ゆっくりと歩いていたが足の張り膝痛があり予定コースは無理と判断。狐塚峠より下山。翌日痛みが増していたため、整形外科を受診。レントゲンで骨折はなかった。	左変形性膝関節症
18	4/11	神奈川県	71	男性	米山	積雪期	転倒	米山下山中に残雪を踏み抜きバランスを崩し左手をついたところ、左手小指があらぬ方向へ曲がってしまった。	左手小指脱臼
19	3/24	広島県	68	男性	天応・烏帽子岩山	登攀	転倒	なめら岩の凹角にてビレイ中、クライマーが滑落。その衝撃で前方へ引きずられて転倒し、右膝を打った。	右膝打撲
20	3/24	広島県	64	女性	天応・烏帽子岩山	登攀	転・滑落	なめら岩の凹角を登攀で、核心部のクイックドロローを設置後、ロープを掛ける前に滑落、4m落下して下の岩で右足を打った。	右足首骨折
21	4/9	埼玉県	77	男性	御荷鉾山	無雪期	虫・動植物	登山中虫(ダニ?)に刺されたがあまり痛くないので大丈夫と思い放置。1,2週間後寝ている時かゆみ痛みがあるので皮膚科受診。外からのばい菌で皮膚下が化膿した。	皮膚下が化膿し腫れ発生
22	4/5	大阪府	52	女性	高野山、黒河道	無雪期	体勢	前日の雨の影響で道はまだ濡れていて少し滑りやすくなっていて足を内側に捻る(その後骨折と判明)。いつもと違う靴を使っていたので感覚が違ったせいで滑ったのかも。	右足関節外果骨折
23	4/5	東京都	50	男性	乗鞍岳	山スキー	体勢	山スキーで下山中に平らな場所でストックで漕いでいると左手首に痛みが走った	手首痛
24	4/11	京都府	72	女性	山門水源の森	無雪期	転倒	登山口(標高220m)歩き出し50m程で、道の段差10cmに気付かず転倒。左膝を打撲。膝に1cmほどの傷と出血あり。バンドエイドと湿布で処置する。大丈夫と思い沢道を50mほど登上がったところで、膝の痛みで歩くのは困難と判断し、10時18分に下山した。家の階段困難。	左膝打撲
25	4/25	東京都	19	女性	大岳山	登攀	転・滑落	つづら岩の正面左側の岩場をロープワークの練習をするために登攀していた。事故者は中間支点を2つ取り終えて、続いて登攀しようとして岩に手をかけ、体重をかけたとき、手がすべり逆さの状態になり転落しかけた。中間支点により転落は免れたが、岩に背中と左足首を強くうちつけ、痛みを訴えた。痛みがひくのを待ち、事故者を地面まで引き下ろし、下山した。	左足首靭帯をひねった

26	4/21	静岡県	会員外		発端丈山	無雪期	転倒	下山途中、木の根に右足を取られて転倒し、右足を打撲。有効期限開始が6月なので今回は基金請求対象外。	頸骨骨折 手術必要 入院1ヶ月程度予定
27	4/13	東京都	65	男性	平尾台	登攀	体勢	虹に登る男5.12をクライミング中、右上に登って行く中で、クライミングの動作中に肘を痛めた。特に墜落等はなし。その後、肘を伸ばしたり、重い荷物を持つと激痛が走る。5月1日に病院に診察に行く予定。	肘痛
28	4/19	香川県	50	男性	赤星山～豊受山	無雪期	転倒	豊受山から登山口に下山途中大きな石の上でスリップ、その時にあばらを岩角に強打する。荷物の一部を仲間を持ち、本人は自力で下山する。	9番目の肋骨を骨折

男女別・年齢層・形態・原因・傷病

年齢	10代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	形態	無雪期	積雪期	人工壁	登攀	冬季登攀	山スキー	訓練	氷瀑	合計
男性	0	0	0	5	5	3	0	0	13	男性	3	2	1	3	1	2	0	1	13
女性	1	0	1	2	5	4	0	0	13	女性	10	0	0	2	0	1	1	0	14
合計	1	0	1	7	10	7	0	0	26	合計	13	2	1	5	1	3	1	1	27

原因	転倒	転・滑落	体勢	落石(落水含む)	凍傷	病気	下山遅れ	その他	合計	傷病	骨折	脱臼	創傷	捻挫	打撲	凍傷	損傷	その他	合計
男性	5	3	3	1	0	0	0	1	13	男性	2	1	1	0	1	1	2	5	13
女性	8	4	2	0	0	0	0	0	14	女性	7	0	1	0	2	0	3	1	14
合計	12	7	5	1	0	0	0	1	27	合計	9	1	2	0	3	1	5	6	27

会員外2名  
会員外2名/その他、虫刺され  
会員外2名/その他:肉離れ1、首刺し傷1、皮膚下化膿1、関節炎1、手首痛1、肘痛1

## 部・局・専門委員会の活動

### ■ 遭難対策部 転倒による骨折を防ごう！

4月30日までに届いた事故一報は28件、28名。

今月の事故原因は、転倒13名、転・滑落7名、体勢5名、落石1名、その他1名。登山形態は、無雪期13名、積雪期2名、登攀6名(冬季登攀1名含む)、山スキー3名、人工壁1名、氷瀑1名、訓練1名。傷病名では、骨折9名、損傷5名、打撲3名、創傷2名、脱臼1名、その他6名(肉離れ1、刺傷1、皮膚下化膿1、手首痛1、肘痛1)。

年齢では、10代1名、40代1名、50代7名、60代10名、70代7名。男性13名、女性14名。

転倒やバランスを崩すことで手首・手指の骨折が5件あり、衝撃緩和の工夫を考えてほしい。(遭難対策部会 石川 昌)

### ■ 海外委員会 第3回海外委員会報告

4月27日(月)Zoomにて開催。議題は11月28日(土)、29日(日)にかけて行う第25回海外山行交流集会の準備であった。先ず記念講演者はワンダーズアドベンチャー代表の中山岳史氏に決定した。講演のテーマは現在未定であるが、ヒマラヤ登山について自身がガイドプランニングをしてきたカテゴリー別に(エクスペディション、トレッキングピーク等)話してもらい、その他のコンテンツとして、写真家でもある氏が撮影してきたカラコルム山脈の写真や動画を紹介してもらう事等も考えている。また、懇親会の際は海外登山で役立つグッズの紹介などしてもらう予定である。

山行の報告として千葉県連のモンゴルトレッキング、埼玉県連のインド、ラダック地方ゾー・ジョンゴ(6260m)登山、ジャンムー・カシミールのキシウトワールトレッキング、ガンジス源流のガルワールトレッキングを予定している。その他数件の海外山行の報告を検討している。集会は全国連盟事務所で行い、配信も予定している。宿泊は事務所近くの東京セントラルユースホステルの他、事務所での宿泊も可能とするように考えている。(海外委員:清野嘉樹)

### ■ 自然保護委員会 全国自然保護担当者会議

2026年全国自然保護担当者会議 in 大阪について、自然保護委員会では準備をすすめています。現時点で決まった内容をお知らせします。

11月14日(土)～15日(日)、大阪府羽衣青少年センター大阪国際ユースホステルを会場に全国自然保護担当者会議 in 大阪が行われます。1日目は「国立公園における

規制緩和について」環境省近畿地方環境事務所の安藤渥一氏(自然保護官)からお話してもらいます。そのあと、詳細は今後お知らせしますが、各地方連盟からの報告、交流を予定しています。なお、2日目の午後は、奈良県へ移動し二上山の火山活動で堆積した火山灰・火砕流が隆起し、長い侵食で削られてできた白い凝灰岩の断崖・奇岩群の「屯鶴峯」に足を運び、その隣にある産廃によるピラミッドができ景観・環境が破壊されている現場を現地の方の説明で視察する予定にしています。ぜひ多くの都道府県から日頃の自然保護活動の状況や取組の上での課題や悩みなどを持ち寄りみんなで交流しましょう！多くの方の参加をお待ちしています。

(自然保護委員会 平尾繁和)

### ■ 労山基金運営委員会 労山基金の価値とこれから

私の所属する会では、労山基金1口以上の加入を義務づけている。その上で、岩・沢・雪を目指す場合は5口以上、海外は10口、それ以外は3口以上の加入を推奨している。実は昨年まで、岩・沢・雪の5口以上、海外の10口も義務としていた。39年前の会結成時からのルールだったが、民間の山岳保険が様々ある中で、労山基金を義務付けることに疑問の声があがった。事故への備えは自己責任であり、個人の判断に任せるべきとの主張だ。これを受けて、一年かけた賛否両論の議論が行われた。その結果が冒頭の内容である。議論を進める中で、労山基金は会員の互助制度であり、営利目的の保険とは異なること。余剰金は遭難対策の訓練や講習の取組に活かされていること。計画書の事前の提出は、事故を未然に防止する山行管理のためであり、単なる届出ではないこと。民間保険の補償内容や査定などの比較も行いながら、労山基金の意義と優位性を会員に知ってもらう良い機会となった。

一方で基金運営委員会には、全国から様々な問合せや要望が寄せられている。手続に関するものや民間保険と混同した質問も多いが、対象の拡大や事務の運用に関する要望も多い。山の楽しみ方が多様化している中で、労山基金も互助制度の強みを活かした更なる充実と進化が求められている。(労山基金運営委員:渡邊健治)

## ■「登山寿命を伸ばすための考え方と実際」 in 関東ブロック協議会 (主管:茨城県連)

日時 2025年5月9・10日

筑波ふれあいの里・筑波山

白雲橋コース(弁慶茶屋往復)

参加者 44名

(受講性: 男性 15名 女性 29名)

講師: 照内明良

報告: 石川 昌



13時より照内講師の机上講習を開始した。登山寿命を伸ばすために見直したい3つのポイントからはじまり、加齢とどう対応すればよいのか? ポイント1「目指す登山生活を明確にして、自身・山岳会の課題を見つけよう」。ポイント2「登山での歩行ペースを見直してみよう」。ポイント3「トレーニング方法を見直してみよう」。それぞれのポイントを分かりやすく説明して頂いた。14時50分から全国遭難対策部(石川)より登山事故の現状として「2025年労山内での事故概況」を図と表により解説した。前年より同様に継続している2点の傾向や新たに変更があった状況を説明した。

15時15分から照内講師による実技講習として、高齢登山者のためのストレッチと筋力トレーニングの講習が行われた。高齢登山者のためのストレッチ実施にあたっての準備や留意点、実施するタイミング、QCシートの活用等を順序立てて解説・説明。高齢者にとって、無理の無いトレーニングが大切であると同時に、各自に合った対応をする事が重要であるとの説明があった。16時30分からは、登高ペースの体験実習について照内講師より①登高速度と②主観速度の説明。実習に利用するコースについて、各区間で実施される内容、主観強度の記録表、時計の操作方法の解説を行い1日目終了した。

2日目は、朝食終了後、筑波館駐車場に集合し1班から出発し、班毎に登高ペースを体験して頂いた。主

観強度の記録では、9から13まで各自体験出来た。

各区間でグループ毎に、振り返りを行い時計での登高スピードと主観速度の体験は、各自感じるがあったと思われる。体験実習での記録表や振り返りシートでの感想・意見は活発に討議出来、スタッフからの進行も意見をまとめる中で良かったと感じている。11時に筑波館に戻り、照内講師より全体の講評を頂き解散した。



### COMPASS「オンライン講座」のご案内

【日時】:6月10日(水) 19時~20時30分

【参加方法】:Zoom ミーティング による(MAX 300名)

【参加対象】:既に COMPASS アプリをスマホ/PC にダウンロードして  
利用しているが、よくわからない方

【申込み方法】:右のQRコードよりお申し込みください。

詳細は全国連盟 [https://www.jwaf.jp/topics/topics/2026/0508\\_1891.html](https://www.jwaf.jp/topics/topics/2026/0508_1891.html)

